

## 「HP掲載文」

平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日の間に、川崎医科大学附属病院で、  
脳梗塞と診断された患者さんへのお知らせ

### 課題名：潜因性脳梗塞において発作性心房細動合併と関連する因子の検討

#### 1. 研究の対象

平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日までの期間に、川崎医科大学附属病院において、脳梗塞と診断された患者さんが対象です。

#### 2. 研究の目的・方法

脳梗塞は再発リスクの高い疾患であり、再発予防が重要です。そのため脳梗塞原因を特定し、これに対して治療を行います。心房細動は脳梗塞の主な原因の一つですが、一過性に出現する発作性心房細動は通常の心電図検査では発見できないことがあります。このため心電図以外の検査で発作性心房細動の合併と関連する因子を検討し、診断に役立てようというのが本研究の目的です。

平成 28 年 7 月 1 日から平成 29 年 6 月 30 日までに、川崎医科大学附属病院脳卒中科に入院した、発症 7 日以内の脳梗塞患者さんが対象です。①血液検査結果②心電図結果③胸部レントゲン所見④経胸壁・食道心エコー所見⑤頭部 MRI 所見などのデータを収集します。そして心房細動合併群と非合併群の 2 群に分け、得られたデータを統計解析します。研究期間は倫理委員会承認日から平成 31 年 3 月 31 日までの予定です。

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

この研究で収集する情報は、病名、診断日、採血、画像検査などの結果、治療内容とその結果などです。この研究は治療介入をとまなわない既存資料のみを用いた後方視的研究であるため、新たに人体試料は採取しません。研究成果は、学会や学術雑誌に発表することがありますが、匿名化を行った後に解析致します。

#### 4. お問い合わせ先

この研究は川崎医科大学・同附属病院倫理委員会で審査され、承認を得たものです。

研究への参加を希望されない方や、ご質問がございましたら、研究責任者までご連絡ください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象と致しませんので、下記連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先]

岡山県倉敷市松島 577 川崎医科大学附属病院 脳卒中科

研究責任者 川崎医科大学脳卒中医学 教授 八木田佳樹

TEL:086-462-1111

FAX:086-464-1128

Email:yyagita@med.kawasaki-m.ac.jp

## 5. 利益相反

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。本研究の研究資金は学内研究費（研究責任者と研究分担者の教員研究費）を用いて行われます。なお、この研究課題を実施する関係者には大塚製薬（株）、バイエル薬品（株）、田辺三菱製薬（株）、エーザイ（株）、第一三共（株）、サノフィ（株）、武田薬品工業（株）、塩野義製薬（株）より奨学金寄付金の受け取りが、第一三共（株）、サノフィ（株）から講演料の受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。